

Newsletter

JAPAN SOCIETY OF EDUCATIONAL INFORMATION

日本教育情報学会

NO. 124 2008. 3. 31

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル4F 岐阜女子大学 文化情報研究センター内
日本教育情報学会 運営本部事務局 Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238
E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei

日本教育情報学会第24回年会

8月19日(火)～20日(水)【大妻女子大学】において開催

年会テーマ ～新しい教育の波～

本年度の第24回年会は、8月に大妻女子大学を会場に開催いたします。本日、大会の概要と研究発表の応募に関する内容をお知らせいたします。

下記の要項をご熟読の上、期限内に手続きしていただきますようお願いいたします。ご参加とご発表をされること、心よりお待ちしております。

期 日 : 2008年8月19日(火)・20日(水)

会 場 : 大妻女子大学 多摩キャンパス

所在地 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1

交 通 小田急多摩線「唐木田駅」下車5分

<http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/>

事 務 局 : 大妻女子大学 社会情報学部・本郷研究室内
日本教育情報学会第24回年会実行委員会

Tel:042-339-0058 E-mail:t_hongo@otsuma.ac.jp

年会テーマ : 「新しい教育の波」

日 程（時間は予定）

8月19日(火) 1日目		8月20日(火) 2日目	
9:30～	受付開始	9:30～	受付開始
10:30～12:00	基調講演	10:00～12:00	課題研究発表/一般研究発表
12:00～13:00	昼食・休憩 (理事会・評議員会)	12:00～	昼食・休憩
		～13:30	各研究会<フリートーキング>
13:00～14:00	総会・学会賞表彰式	13:30～15:30	課題研究発表/一般研究発表
14:00～15:30	パネル討論	15:30～17:30	課題研究発表/一般研究発表
15:30～17:30	課題研究発表/一般研究発表		
18:00～	懇親会		

基調講演の時間は確定ではありません。課題研究・一般研究発表(1)が午前中で、基調講演が午後になるかもしれないことをご確認ください。

(1)基調講演

「新教育課程のめざす学力と人間力の育成」

市川 伸一（東京大学大学院 教授）

[趣旨]

21世紀に入り、日本の教育は根本的な課題の一つである学力の問題に再び直面しています。2002年に、確かな学力の向上のための2002アピール「学びのすすめ」が打ち出されて、はや6年が経とうとしています。その間に実施されたさまざまな学力調査の結果は今更述べるまでもなく、深刻な課題を浮き彫りにしてきました。基礎学力や学習意欲の向上はもちろんですが、これからの教育では、活用・探究の力、さらに、社会の中で生き、社会をつくっていく「人間力」が求められています。

基調講演では、内閣府「人間力戦略研究会」の座長として報告書をまとめられ、また「中央教育審議会教育課程部会」や「全国的な学力調査の実施方法等に関する専門家検討会議」の委員でもある東京大学大学院教育学研究科教授の市川伸一先生に、審議会・委員会などでの議論に触れながら、学力・人間力を巡る問題についてお話いただく予定です。市川先生のご専門の心理学の視点から、教育情報研究との関連性や情報教育、ICTの教育利用、また政策や社会への示唆などいただければと考えております。

教育情報や情報教育に携わる教員及び研究者一人ひとりが学力問題をどのようにとらえ、どのようにかかわっていくのか、行動していけばよいのかを考える機会になればと願っています。

(2)パネル討論

テーマ「学校教育における近未来のICT活用」

コーディネーター：中川 一史（メディア教育開発センター）

- ・パネリスト：パネリストは折衝中
- ・デジタルコンテンツ関係、図書館・博物館情報関係、学習情報関係、学術情報関係

[趣旨]

現在、教育の現場においては、さまざまなICT機器が導入され、授業における学力向上や校務の効率化をはかっている。しかし具体的に、どのような先進事例があり成果をあげているのか、また課題は何なのか、について、情報が共有されているとは言えない。そこで、特に初等中等教育におけるICT活用の先進的な試みをされている研究者、企業担当者、現場教員等をお招きし、事例の実際と、ねらい・工夫、課題などについてお話いただく。また、学校教育における近未来のICT活用の今後の可能性、発展性についても考えていきたい。

(3) 課題研究テーマ

課題1 教職開発

コーディネータ：林 徳治（山口大学）、沖 裕貴（立命館大学）

教職員に求められる資質能力は、授業力、評価力に加え、組織変容にいかにか寄与できるかといった組織力など広義的な内容に変容している。初等中等教育における教員免許更新に伴う講習科目内容・方法や評価、高等教育におけるFDの義務化に伴う内容・方法・評価に加え今後の人材育成など山積された課題は多い。

本セッションでは、校種を問わず、今後教職に携わる人材として求められる資質能力について考察し、先進的・試行的に取り組みられている実践事例を通して議論を深めたい。

課題2 デジタル・アーカイブの新しい展開と今後の課題

コーディネータ：久世 均（岐阜女子大）

情報社会の進展に伴い、デジタル・アーカイブの対象は、博物館や美術館等の文化財を中心とされてきた時代から、地域に関わる文化活動・行政や企業等の資料・管理・公開へと新しい展開が行われてきた。しかし、このようなデジタル・アーカイブの制作、流通、活用には、著作権、プライバシー、個人情報保護等の問題、及びその評価やデジタル・アーカイブに関する人材育成など運用面での新しい課題がでてきた。ここでは、このようなデジタル・アーカイブに関わる問題点や人材育成に関する課題を議論し、今後のデジタル・アーカイブの展開についての方向性を考える。

課題3 支援技術による教育のユニバーサル化～特別支援教育の向上を目指して～

コーディネータ：太田 容次（国立特別支援教育総合研究所）

このセッションでは、支援技術（AT）等の活用により障害のある人の活動や参加を支援するための教育実践等の教育情報と、それらを結びつけるための教育情報のあり方について議論したい。具体的には、様々な教育的ニーズのある子どもの教育に対応した教育実践等の教育方法や、それらをつなぐネットワーク等について考えたい。

課題4 子どもの「読む・調べる」と学校図書館

コーディネータ：野末 俊比古（青山学院大学）

学校図書館は今、図書からインターネットまで、多様なメディアを活用できる「メディアセンター」として、読書習慣・能力の育成（読書教育）や情報活用能力・課題解決能力の育成（調べ学習・情報リテラシー教育）などにおいて役割を果たすことが期待されている。役割を果たすためには、読書材・学習材・教材の整備や司書教諭・学校司書による指導などが適切になされることが重要となる。学校図書館をめぐる現状や課題などについて、政策・制度、歴史、理論、事例など、多様な側面から検討していきたい。

課題5 ICT利用支援と情報モラル

コーディネータ：堀口 秀嗣（常磐大学）

ICT利用環境は単にブラウザやマイクロソフトのofficeに代表されるビジネスソフトだけで効果的にできるわけではない。デジタルポートフォリオやeラーニングなど教育用ソフトウェアを利用したり、コンテンツを自作するなどして学習内容や児童生徒に合った学習活動を実現している。そのような授業実践やコンテンツ開発、ソフトウェア開発などについてご報告いただく。また、このような授業での利用は常に著作権や肖像権、個人情報保護などを遵守しなければならない。情報モラルを児童生徒学生にどのように教えていくかと、教員がどのような点に留意しているかをご紹介いただく。

(4) 一般研究発表

- ・ 発表内容は「教育情報に関する研究」であれば、特に内容は問いません。「教育情報」は、大きくみて「教育に関する情報」と「情報に関する教育」が含まれています。
- ・ 想定される発表セッション（キーワード）は次の通りです。（五十音順）
- ・ 応募状況に応じて、7セッション程度を設定する予定です。

インターネット、遠隔教育、遠隔教育システム、学習ソフトウェア開発（教育用ソフトウェア）、学習情報管理システム、学習評価、教育システム、共同学習（遠隔協働学習）、交流学习、授業分析、児童による情報作成、生涯学習、情報教育（カリキュラム論を含む）、情報教育システム、情報教材開発（コンテンツを含む）、情報検索、情報処理教育、データベース、動画教材の開発、ネットワーク（活用、管理、LAN）、プレゼンテーション、ホームページ、マルチメディア（活用、開発等）、国際貢献・協力、国際理解、知的財産権、プライバシー、情報カテゴリー、eラーニング

(5) 研究発表申込み方法

① 申込締切

2008年5月10日（土）

② 申込方法

Webによる登録を行ってください。なお、不都合がある場合は、第24回年会サイト (<http://www.kenkyu-jsei.com/nenkai24/>)にある年会研究発表申し込み用紙をダウンロードし、メールの添付ファイルとしてお送りください。その他ご不明な点は、実行委員会事務局宛にお問い合わせください。

課題研究はWebサイトの「課題研究発表申込書」、一般研究はWebサイトの「一般研究発表申込書」に必要な事項をご記入の上、送信してください。

(Webの利用方法)

Web登録を行うには、次のWeb登録用アドレスにアクセスしてください。

<http://www.kenkyu-jsei.com/nenkai/>

※登録時には会員番号と、学会申込用パスワードが必要です。

今回の学会申込用パスワードは「0tuma2008」（先頭はゼロ）です。

- 手順1. Web登録のトップページから、「課題発表申込み」か「一般発表申込み」をクリックします。
- 手順2. 会員番号と学会申込用パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックします。
- 手順3. 申込用フォームに必要な事項を記入して、送信します。
- 手順4. 登録が無事終了すると論文投稿用のパスワードが示されます。論文投稿時に必要ですので、パスワードは必ずメモしておいてください（またはそのページを印刷して保管してください）。

③ 課題研究に関する注意事項

- ・ 課題研究は前記「課題研究テーマ」から選び、そのテーマに合った研究発表題目をつけてください。
- ・ 課題研究発表は年会実行委員会で調整し、テーマごとに担当コーディネータが検討し、審査します。その結果、発表否となる場合もあることをあらかじめご了承ください。なお、課題研究として発表できない場合には、一般研究を別に申し込んでいても課題研究分を一般研究発表として発表していただくことのできる場合もあります。
- ・ 第1発表者（講演者）として課題研究発表は、1人につき1件のみとします。ただし、年会実行委員会から特に依頼された課題研究発表についてはこの限りではありません。

④ 一般研究に関する注意事項

- ・ 第1発表者（講演者）としての一般研究発表は、1人につき1件のみとします。
- ・ 一般研究発表の発表者は、発表の時点で会員である必要があります。非会員の方は、事前に学会入会の手続きをしてください。学会入会申込書は年会事務局にご請求ください。

⑤ 発表申込書の書き方について

- ・ 講演者とは、研究発表会場で口頭発表する会員です。
- ・ 共同研究者は何人でもかまいません。
- ・ 概要はなるべく詳細に書いてください。
- ・ キーワードとして前記発表セッション名の中から数語を含めて5語以内を選んでください。
- ・ 会場で使用できる機器は、プロジェクタです。パソコンは各自で持参してください。書画カメラの使用を希望する場合、あるいは予め持参する機器がある場合は、事務局への連絡欄にその旨を記入してください。
- ・ 執筆要項などの送付先（メールアドレス等）は、発表者への連絡時期である6月上旬を想定して、自宅または勤務先を記入してください。

(6) 発表者への連絡

- ① 発表者には、5月下旬までには発表の可否をメールで連絡します。
- ② 発表を可とされた申込者に対しては、論文の執筆要項をお送りします。
- ③ 論文の原稿枚数は 2枚（一般研究）、4枚（課題研究） とします。原稿は「年会論文集」の版下の形で、Webから提出していただきます。

(7) 参加費について(検討事項)

・ 会員事前申込締切日まで

参加費 3,000円 資料代 3,000円 懇親会費 5,000円（予定）

・ 会員（当日）・非会員

参加費 4,000円 資料代 3,000円 懇親会費 5,000円（予定）

※ 参加申込みは、後日送付する「年会参加申込書（兼）参加費振込用紙」（郵便振替）をご利用ください。

・ 論文集の郵送申し込みについて（年会に参加されない方）

年会に参加されないで論文集を購入希望の方は、参加申込書の該当欄にご記入の上、申し込みをしてください。年会終了後論文を送付します。

論文集 3,500円（郵送費、事務諸費を含む）

・ 後援関係の方

現職教員の方の参加を歓迎します。後援いただいた教育委員会所属の先生方の参加は無料とします。（論文集代は申し受けます）

(8) 宿泊について

- ・ 宿泊に関しましては、各自で手配いただきますよう、お願い申し上げます。
- ・ 次号 Newsletter に、最寄のホテルをご案内します。

(9) これからのスケジュール(予定)

- ① 発表申込締切 2008年5月10日(土)
- ② 発表決定通知 2008年5月24日(木)
- ③ 論文提出締切 2008年7月7日(月)
- ④ 参加申込締切 2008年8月4日(金) (=参加費支払締切)

発表申込書送付先・問い合わせ先

〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1 大妻女子大学 社会情報学部
日本教育情報学会第24回年会実行委員会 実行委員長 本郷 健
Tel:042-339-0058(直通) E-mail:t_hongo@otsuma.ac.jp

***** 運営本部事務局よりお願い *****

☆年会費お支払いについて

2008年度年会費の振込用紙を同封いたしますので、手続きをお願いいたします。本学会は会員の皆様からの会費によって運営されております。学会の正常な運営のためにも、趣旨ご理解の上、お早めに手続きをいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

なお、2007年度までの会費のお支払いが、まだお済みでない方は、新年度会費と合わせて手続きをお願いいたします。(お支払いいただいた後、振込金受領書は大切に保管してください)

学生会員の方へ

学生会員の方は、必ず「学生証」のコピー又はPDF ファイルを郵送もしくはE-mailにて運営本部事務局まで、ご送付ください。

☆ご登録の住所・勤務先等の変更について

ご自宅や所属先の住所等に変更がある場合は、氏名・会員番号と変更事項をご記入の上、E-mail, FAX もしくは郵送にて、運営本部事務局へご連絡ください。

☆学会誌「教育情報研究」の投稿について

「教育情報研究」または「ホームページ」に掲載の『投稿要領』をご確認のうえ、『投稿の手続き』および『執筆手順』に従い、『投稿票』を添えて、運営事務局へご投稿下さい。

なお、投稿票はホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsei> から、ダウンロードできます。

日本教育情報学会 運営本部事務局
〒500-8813 岐阜県岐阜市明徳町10番地 杉山ビル4F
岐阜女子大学 文化情報研究センター内
Tel:058-267-5233 Fax:058-267-5238 E-mail:nkjg@gijodai.ac.jp